



とまり木通信 2022年 2月号

戸外でモルックを楽しむ



雑談...

お笑い芸人の『さらば青春の光』の森田哲矢さんは、世界 14 개국 175 チームが集まった 2019 年のモルック世界大会に日本代表として出場された選手です。

寒い季節ですが、今月はとまり木近くの公園でモルックを楽しみました。ちょうどその日は風がほとんど吹かず、戸外で気持ち良くゲームができました。

モルックについて調べてみると、日本ではまだまだ競技人口が少なく、県内の協会認定のチームはわずか3チームのみという状況です。とまり木にモルックチームはありませんが、これから春に向けて楽しみながら体を動かす機会の一つになればと思います！

節分の豆まき・鬼退治！



人の心に巣食う悪い鬼に扮し、豆まきを盛り上げてくれた久保スタッフ。久保スタッフが、「悪い鬼とは、自分の心の中にいる、悪くて、ずるくて、情けない、自分のことなんだよ」と私たちに教えてくれました。

節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があるそうです。また、節分の豆まきは「悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込む」ために行うものであるとのこと。まいた後は1年の厄除けを願って豆を食べました。大豆パワーで元気な1年になりそうです!!

手作りした豆の升



PCR 検査実施のご報告

皆さんもご存知のとおり、新型コロナウイルスの感染が急拡大し山口県でも複数の福祉サービス事業所でクラスターが発生しました。それに伴い、感染予防策の一つとして県の事業のPCR検査をスタッフ全員で受け、全員の陰性を確認したところでした。3月にも再度検査を受け、未然防止に努めていきたいと考えています。